

令和7年2月号

# 鹿浜こども園だより



## 足立区立鹿浜こども園

第一園舎 Tel.3855-4447

足立区鹿浜 5-25-11

第二園舎 Tel.3897-8515

足立区鹿浜 5-24-4-101

園長 守屋 久美子



第二園舎、職員玄関の鍵が電子錠になりました。工事中のご協力ありがとうございました。また、今まで手動で2個所の施錠を徹底していただいたことにも感謝申し上げます。

こども園では、4月から毎月避難訓練を実施しています。ご協力いただいた引き取り訓練をはじめ、不審者対応訓練、消防署の立ち合い訓練、水害、火災、地震など様々な状況を想定して実施してきました。第一園舎から第二園舎へ、第二園舎から第一園舎へ避難する訓練も経験しました。子どもたちも、積み重ねていく中で保育者の言葉を聞き、落ち着いて避難できるようになってきました。

災害はいつ発生するかわかりません。いつか起こるかもしれない『もしも』の時のために、災害時を想定した避難訓練を定期的に行うことが重要だと考えます。繰り返し訓練することで、私達保育者も子どもたちに的確な指示が出せるようになります。これからは急な災害に備え、日頃から準備を行い、子どもたちが安心、安全に過ごせるようにしていきます。

第二園舎 副園長 森 由美

### 教材費（4・5歳児）納入について

2・3月分：2月4日（火） 2000円

集金袋は集金日より前にお渡しします。集金袋に、記載されている金額を封入の上、園にお持ちください。

### 《4歳児リクエスト給食》5日（水）第一園舎

4歳児からのリクエストをもとに献立を考えました。

## 鹿浜こども園の教育目標

げんきなからだ  
やさしいところ  
かんがえるちから  
心豊かで たくましい  
「遊ぶの大好き・笑顔いっぱいの子ども」  
を育てる

## 《行事予定》

2月	
3日（月）	節分
4日（火）	保護者会①16:00～ 安全指導
6日（木）	劇場ごっこ④
13日（木）	（長）新入園児健診
14日（金）	交通安全教室④⑤
18日（火）	お別れ遠足⑤
19日（水）	保護者会⑤15:30～
20日（木）	太陽保育園と交流⑤ 身体測定
未定	ごっこあそび④⑤
未定	避難訓練

3月	
3日（月）	ひなまつり
6日（木）	お別れ会④⑤
11日（火）	修了式予行⑤
12日（水）	（長）新入園児説明会 安全指導
13日（木）	身体測定⑤
18日（火）	修了式⑤
19日（水）	身体測定①～④ 新入園児と遊ぶう会（第一）
25日（火）	終業式④
26日（水）	春季休業日始（短）
31日（月）	進級式（第二）
未定	避難訓練

### 《節分》3日（月）

伝承行事を、各クラスで年齢に応じて雰囲気を楽しみます。給食は、節分にちなんだ盛り付けをします。

### 《劇場ごっこ 4歳児》6日（木）

友達と一緒に日ごろの遊びを披露します。楽しんでいる姿をご覧ください。詳細は学年だよりにてお知らせします。

### 《お別れ遠足 5歳児》18日（火）

5歳児がお別れ遠足で西新井ギャラクシティに行きプラネタリウムを鑑賞します。詳細は学年だよりにてお知らせします。

知ると分かる。すると変わる。



SDGs MODEL ADACHI

## 〈ひよこ組〉

自分のマークを見て上着を取り出したり、靴下や靴を自分で履こうとしたりなど、身の回りのことを自分でやりたいという気持ちが育ってきています。やろうとしても難しいことがありますが、自分でやりたいという気持ちを受け止め、できた喜びを感じられるよう関わっています。



ねらい

- ・保育者と一緒に遊ぶ中で、簡単な見立て遊びや再現遊びを楽しむ。

## 〈りす組〉

クラスで育てているクロッカスとヒヤシンスの球根から芽が出てきました。日々変わっていく様子を「とげとげしているね!」「どんなおはながさくのかな?」など、保育者や友達と話しながらじっくり見たり、優しく触ってみたりしています。子どもたちの気付きや発見を共に喜んだり、面白がったりしていきます。



ねらい

- ・保育者や友達と関わりながら、自分の思いを言葉で伝えたり、表現したりしてやりとりすることを楽しめるようにしていきます。

## 〈うさぎ組〉

保育者と一緒に遊んでいた鬼ごっこやだるまさんがころんだを、友達を誘って子ども同士で楽しめるようになってきました。遊びの中でどうやったら捕まらないか、タッチできるのか自分なりに考えながら遊んでいます。「〇〇じゃなかった」と思いの違ひも見られますが、自分の気持ちを言葉で伝えられることも増えてきています。



ねらい

- ・友達と言葉で気持ちを伝え合いながら、一緒に遊ぶ楽しさを感じられるようにしていきます。
- ・身の回りのことが自分でできたと思えるように援助していきます。

## 〈ぱんだ・こあら組〉

遊びを作り出す楽しさを感じている子どもたち。劇場ごっこがあることを知ると、日々の遊びの中で楽しんでいることを見せたいと、アイデアがたくさん出てきました。その中で興味が同じ友達と仲間になり、衣装作りや音楽選び、どんなことを見せたいのか、考えを出し合いながら進めています。当日をととても楽しみにしています。

「とっても素敵なのができたね!」  
お客さんにもなった友達から褒めてもらうと、とても嬉しそうでした。



どうやっておうちの人と一緒にあそぼうかな?  
考えたことを言葉で伝えるのは、難しいということも経験しています。

ねらい

- ・自分のイメージを言葉や動きで表現し、友達と一緒に進める楽しさや作りこんで遊ぶ面白さを味わえるようにしていきます。
- ・冬の自然の面白さを感じながら、季節ならではの経験ができるようにしていきます。

## 〈ぞう・きりん組〉

羽根つきや凧揚げなどのお正月遊びを友達と一緒に親しんだり、獅子舞や鏡開きの場に参加したりすることで伝承行事の雰囲気を感じました。凧揚げでは、凧をあげる高さを調節するために、たこ糸の先端にトイレットペーパーの芯を付け、そこにたこ糸を巻き付けて高さを調節できるよう工夫する姿が見られました。寒い日が続き、室内遊びを好む子が増えていましたが、自分で作った凧をあげたいという思いから、思いきり体を動かして遊ぶ日が続いています。

また、鹿浜未来小学校へ学校探検にも行きました。在校生が授業を受けている様子を見学したり、保健室、図書室の使い方を知ったりしました。学校の雰囲気を感じ、就学への期待を膨らませています。安心して就学できるよう、子ども自身が自分の力を発揮し、自信をもって生活できるように見守っていきます。



ねらい

- ・生活に見通しをもち、自分達でできることにすすんで取り組めるようにしていきます。
- ・友達と仲間意識をもち、互いのよさを認め合いながら一緒に過ごす楽しさを味わえるようにしていきます。